

立地場所の比較・検討

| | 現庁舎敷地 | 武蔵小杉駅周辺 | 武蔵溝ノ口駅周辺 | |
|-----------------------------------|---|--|---|---|
| 川崎市の総合計画上の位置付け | 広域拠点※1 | 広域拠点 | 地域生活拠点※2 | |
| 土地利用の基本方針 (川崎市都市計画マスタープランより抜粋) | 本市の中心的な「広域拠点」として、中枢業務機能や広域的な商業機能、文化・交流、行政等の高次な都市機能の集積を図る | 川崎中部の「広域拠点」として、商業・業務・文化交流・研究開発等の諸機能の集積を図る | 高津区の拠点として、商業・業務・文化機能等の諸機能の集積を図る | |
| 比較項目 | 【商業・業務機能の集積度】※3 ・官民連携や行政間連携を推進していくためには、商業・業務機能の集積が進んでいることが重要 | ○ ・半径1km圏内の事業所数 5,392 ・半径1km圏内の従業者数 92,693 人 ・ 最も集積している。 ・裁判所、法務局、検察庁、税務署、年金事務所、労働基準監督署、ハローワーク、県税事務所等、 国・県の主要な出先機関が集積している。 | △ ・半径1km圏内の事業所数 3,141 ・半径1km圏内の従業者数 45,960 人 ・ 川崎駅周辺より集積度は低い。 ・ 国・県の出先機関は立地していない。 | △ ・半径1km圏内の事業所数 3,579 ・半径1km圏内の従業者数 46,714 人 ・ 川崎駅周辺より集積度は低い。 ・税務署、年金事務所、労働基準監督署、ハローワーク、県税事務所等、 国・県の一部の出先機関が立地している。 |
| | 【緊急交通路の状況】 ・市庁舎は災害対策活動の拠点となる場所であり、災害対策活動や物資輸送活動に使用する道路の状況が重要 | ○ ・国道15、132、409号線、県道9、101号線 ・いずれも片側二車線以上 | △ ・国道409号線、県道2、45号線 ・いずれも片側一車線 | △ ・国道246、409号線、県道14号線 ・国道246号線を除き片側一車線 |
| | 【臨海部へのアクセス】 ・ライフサイエンス・環境分野の国際戦略拠点の整備を進め、緊密に連携していくためには、臨海部へのアクセスが重要 | ○ ・臨海部から最も近い(殿町3丁目から約5km)。 | △ ・臨海部から遠い(殿町3丁目から約10km)。 | △ ・臨海部から最も遠い(殿町3丁目から約15km)。 |
| | 【主要都市部(東京・横浜)への電車によるアクセス】 ・国や県との連絡調整を適切に行うためには、行政機関が位置する東京・横浜へのアクセスが重要 | ○ ・東京・横浜へ直通 東京(霞が関近辺)まで約20分 横浜(関内近辺)まで約20分 | ○ ・東京・横浜へ直通 東京(霞が関近辺)まで約20分 横浜(関内近辺)まで約20分 | △ ・東京へ直通 東京(霞が関近辺)まで約30分 横浜(関内近辺)まで約35分 |
| | 【主要都市部(東京・横浜)への車によるアクセス】 | ○ ・東京都心・横浜へと通じる国道15号線(片側二車線以上) | △ ・東京都心へと通じる県道2号線(片側一車線、混雑) | ○ ・東京都心へと通じる国道246号線(片側二車線) |
| | 【羽田空港へのアクセス】 ・国外からの要人の表敬訪問や視察への対応などの迎賓機能のためには、羽田空港へのアクセスが重要 | ○ ・最も近い(電車約20分)。 | △ ・川崎駅周辺より遠い(電車約40分)。 | △ ・最も遠い(電車約45分)。 |
| | 【市内からのアクセス】 ・区役所に対応していない業務のために来庁する市民の利便性確保のためには、市内からのアクセスが重要 | △ ・川崎市の人口重心(※4)から最も遠い(約9km)。 | ○ ・川崎市の人口重心に近い(約4km)。 | ○ ・川崎市の人口重心に最も近い(約2km)。 |
| | 【用地に関する課題】 | <現在の敷地面積> 本庁舎～第4庁舎の合計: 12,807.85㎡ (明治安田・御幸ビルを含めると 15,058.36㎡) | <必要となる敷地面積> 総務省地方債同意等基準により算出した新庁舎の規模(80,100㎡)と、駅周辺の容積率(600%)より、 14,000㎡ 程度が必要となると想定 | ○ ・ 用地確保の必要がなく、用地買収コストはかからない。 |
| 【その他】 | ○ ・本庁舎敷地と合わせて、第2庁舎敷地を 活用可能 ・第3庁舎及び第4庁舎は、継続して 活用可能 | △ ・第2庁舎敷地、第3庁舎及び第4庁舎が 活用できなくなる。 ・不要となる庁舎を処分すれば、現地建替の場合と同等のコストとなると試算しているが、第3庁舎を建物ごと処分できるか(第3庁舎の処分価格は約131億円と想定)など 不確実性が潜在している。 | | |
| 今後の検討課題 | ・まちづくり、シンボル性、本庁機能のあり方など | | | |

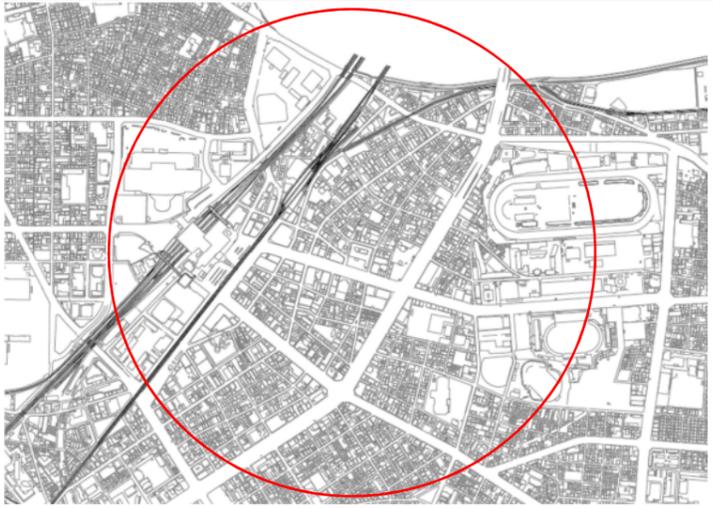
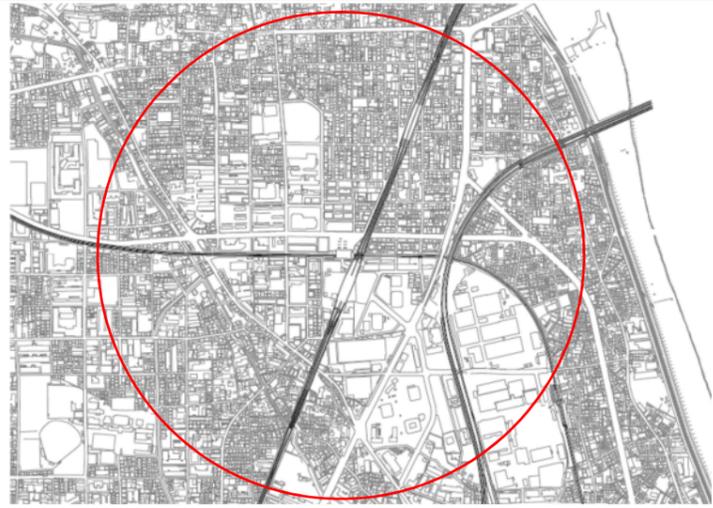
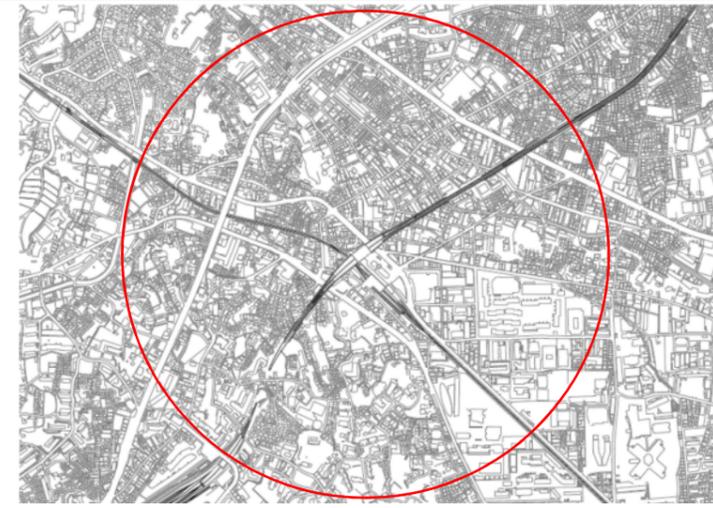
※1: 川崎再生フロンティアプランにおいて、「都心や横浜中心部との高い近接性を踏まえて、市外隣接都市拠点との調和のもとに適切な機能分担を行い、地理的条件や交通機能などを活かしながら、民間活力を中心としたまちづくりを推進し、個性と魅力にあふれた広域的な拠点形成を推進する」と位置付けられた地区

※2: 川崎再生フロンティアプランにおいて、「市内の主要ターミナル駅などを中心に拠点地区の整備を推進し、活力と潤いのある市民生活の実現や、商業・業務機能の育成、さらには市域の一体性の向上、地域間の交流・連携の促進などを図る」と位置付けられた地区

※3: 各地区の事業所数及び従業者数は、H22経済センサスより、駅から半径1kmに含まれる町丁の数値を集計。「現庁舎敷地」の事業者数及び従業者数は、JR川崎駅から半径1kmの数値

※4: 宮前区野川445番地付近(平成22年国勢調査より。人口重心とは、ある地域の全ての人が同じ重さだと仮定して、その地域を均質な平面と見たとき、人口を一点で支えて均衡を保つことのできる点のこと。)

現庁舎敷地、武蔵小杉駅及び武蔵溝ノ口駅の周辺における公共施設等

| 分類 | 項目 | 現庁舎敷地周辺 | 武蔵小杉駅周辺 | 武蔵溝ノ口駅周辺 |
|----------------|------------------|--|---|---|
| 川崎市の総合計画上の位置付け | | 広域拠点 | 広域拠点 | 地域生活拠点 |
| 官公署 (国・県) | 地方裁判所 | ○ | — | — |
| | 家庭裁判所 | ○ | — | — |
| | 簡易裁判所 | ○ | — | — |
| | 法務局 | ○ | — | — |
| | 地方検察庁 | ○ | — | — |
| | 税務署 | ○ | — | — |
| | 年金事務所 | ○ | — | ○ |
| | 労働基準監督署 | ○ | — | ○ |
| | ハローワーク | ○ | — | — |
| | 県税事務所 | ○ | — | ○ |
| | その他の主な県施設 | 県政情報センター、県民センター県民の声・相談室、 パスポートセンター | — | 労働センター |
| 商業・業務 | 大規模商業施設 | ラゾーナ、アトレ、ルフロン、さいか屋、ダイス 等 | 東急スクエア、株式会社東京機械製作所玉川製造所再開発計画(事業中) 等 | ノクティ1、ノクティ2 |
| | 商工会議所 | ○ | — | — |
| | 金融(五大銀行) | 5行(三菱東京UFJ、三井住友、みずほ、りそな、三井住友信託) | 3行(三菱東京UFJ、三井住友、みずほ) | 3行(三井住友、みずほ、三井住友信託) |
| | 報道支局(五大紙) | 4紙(読売、朝日、日経、毎日) | — | — |
| | 1km圏内の事業所数※1 | 5,392 | 3,141 | 3,579 |
| | 1km圏内の従業者数※1 | 92,693人 | 45,960人 | 46,714人 |
| 文化・余暇 | 美術・博物館 | アートガーデン川崎 | — | — |
| | ホール | ミュージアム川崎シンフォニーホール、教育文化会館、産業振興会館 | 中原市民館、総合自治会館 | 高津市民館、生活文化会館(てくのかわさき)、男女共同参画センター(すくらむ21) |
| 交通 | 鉄道 | JR川崎駅(東海道本線、南武線、京浜東北線) 京急川崎駅(京急本線、大師線) | JR武蔵小杉駅(南武線、横須賀線、湘南新宿ライン)、 JR向河原駅(南武線)、東急武蔵小杉駅、新丸子駅(東横線、目黒線) | JR武蔵溝ノ口駅(南武線) 東急溝ノ口駅(田園都市線、大井町線) |
| | 最寄駅 鉄道乗車人員数※2 | JR川崎駅 185,651人/日 京急川崎駅 56,725人/日 合計 242,376人/日 | JR武蔵小杉駅 103,624人/日 東急武蔵小杉駅 93,571人/日 合計 197,195人/日 | JR武蔵溝ノ口駅 76,774人/日 東急溝ノ口駅 136,482人/日 合計 213,256人/日 |
| | 道路 | 国道15、132、409号線、県道9、101号線 | 国道409号線、県道2、45号線 | 国道246、409号線、県道14号線 |
| 範囲 | 範囲 |  |  |  |

※1：各地区の事業所数及び従業者数は、H22経済センサスより、駅から半径1kmに含まれる町丁の数値を集計。「現庁舎敷地周辺」の事業所数及び従業者数は、JR川崎駅から半径1kmの数値
 ※2：鉄道乗車人員数については、川崎市HP「川崎市統計書平成24年版」参照。数値はすべて平成23年度の値

政令指定都市（人口 140 万人以上）本庁舎周辺における公共施設等

| 分類 | 項目 | 川崎市役所周辺 | 札幌市役所周辺 | 横浜市役所周辺 | 名古屋市役所周辺 | 京都市役所周辺 | 大阪市役所周辺 | 神戸市役所周辺 | 福岡市役所周辺 |
|--------------|---------------------------------------|---|---|--|---|--|--|--|---|
| | 2010 年国勢調査人口 | 1,425,512 人 | 1,913,545 人 | 3,688,773 人 | 2,263,894 人 | 1,474,015 人 | 2,665,314 人 | 1,544,200 人 | 1,463,743 人 |
| 官公署 (国・県) | 地方裁判所 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 家庭裁判所 | ○ | ○ | ○ | ○ | — | ○ | ○ | — |
| | 簡易裁判所 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | ○ |
| | 法務局 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 地方検察庁 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 税務署 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 年金事務所 | ○ | — | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 労働基準監督署 | ○ | — | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | ハローワーク | ○ | — | ○ | — | — | ○ | ○ | ○ |
| | 県税事務所 | ○ | ○ | — | ○ | ○ | — | ○ | ○ |
| その他の主な県施設 | 県政情報センター、県民センター県民の声・相談室、パスポートセンター(支所) | 道庁、パスポートセンター | 県庁、パスポートセンター、労働プラザ | 県庁 | — | 労働センター | 県庁 | — | |
| 商業 | 大規模商業施設 | ラゾーナ、アトレ、ルフロン、さいか屋、ダイス 等 | 東急百貨店、大丸、三越、パルコ 等 | 赤レンガ倉庫、横浜ワールドポーターズ、横浜クロスゲート、中華街 | セントラルパーク、東急ハンズ | 高島屋、マルイ、藤井大丸、京成大丸 等 | ハービス、阪急百貨店、阪神百貨店、大丸、三越伊勢丹 等 | 神戸サンセンタープラザ、そごう、マルイ 等 | 大丸、キャナルシティ博多、ソラリアプラザ 等 |
| | 商工会議所 | ○ | ○ | ○ | — | ○ | — | — | — |
| 業務 | 金融(五大銀行) | 5行(三菱東京UFJ、三井住友、みずほ、りそな、三井住友信託) | 5行(三菱東京UFJ、三井住友、みずほ、りそな、三井住友信託) | 4行(三菱東京UFJ、三井住友、みずほ、りそな) | 1行(三菱東京UFJ) | 5行(三菱東京UFJ、三井住友、みずほ、りそな、三井住友信託) | 5行(三菱東京UFJ、三井住友、みずほ、りそな、三井住友信託) | 5行(三菱東京UFJ、三井住友、みずほ、りそな、三井住友信託) | 5行(三菱東京UFJ、三井住友、みずほ、りそな、三井住友信託) |
| | 報道支局(五大紙) | 4紙(読売、朝日、日経、毎日) | 5紙(読売、朝日、日経、毎日、産経) | 5紙(読売、朝日、日経、毎日、産経) | 1紙(読売) | 4紙(読売、朝日、日経、毎日) | 3紙(読売、朝日、毎日) | 2紙(読売、朝日) | 3紙(読売、毎日、産経) |
| 文化・余暇 | 美術・博物館 | アートガーデン川崎 | 市民ギャラリー | 神奈川県立歴史博物館、横浜都市発展記念館 等 | 宙の博物館 等 | 京都芸術センター 等 | 国立国際美術館、大阪市立東洋陶磁美術館 等 | 神戸市立博物館 | 福岡アジア美術館、文化芸術情報館アトリエ 等 |
| | ホール | ミュウザ川崎シンフォニーホール、教育文化会館、産業振興会館 | 札幌市民ホール、道新ホール、共済ホール、かでの2・7道立道民活動センター、ザ・ルーテルホール、サッポロファクトリーホール、東北会館 | 神奈川県民ホール、関内ホール 等 | 愛知県女性総合センターウィルあいち 等 | — | 総合生涯学習センター、中央公会堂 等 | — | 福岡市民会館、福岡シンフォニーホール、アクロス福岡円形ホール 等 |
| 交通 | 鉄道 | JR川崎駅、京急川崎駅 | JR札幌駅、西4丁目駅、西8丁目駅、すすきの駅、すすきの駅、さっぽろ駅、豊水すすきの駅、大通駅、バスセンター駅 | 馬車道駅、日本大通り駅、石川町駅、関内駅、伊勢崎長者町駅 | 地下鉄市役所駅、名鉄東大手駅 | 神宮丸太町駅、三条駅、烏丸御池駅、京都市役所前駅、三条京阪駅 | 北新地駅、渡辺橋駅、大江橋駅、なにわ橋駅、肥後橋駅、淀屋橋駅、北浜駅 | 三ノ宮駅、三宮駅、三宮・花時計前駅、貿易センター駅、旧居留大丸前駅、元町駅 | 中洲川端駅、天神駅、西鉄福岡駅、天神南駅、渡辺通駅 |
| | 最寄駅 鉄道乗車人員数 ※1 | JR川崎駅 185,651 人/日 京急川崎駅 56,725 人/日 合計 242,376 人/日 | JR札幌駅 88,531 人/日 地下鉄大通駅 71,563 人/日 合計 160,094 人/日 | JR 関内駅 55,610 人/日 みたとみらい線日本大通り駅 10,847 人/日(H24 年度) ブルーライン関内駅 21,714 人/日(H24 年度) 合計 88,171 人/日 | 地下鉄市役所駅 19,121 人/日 名鉄東大手駅 1,751 人/日 合計 20,872 人/日 | 地下鉄京都市役所前駅 10,781 人/日 京阪三条駅 18,447 人/日 合計 29,228 人/日 | 地下鉄淀屋橋駅 103,918 人/日 京阪淀屋橋駅 57,517 人/日 合計 161,435 人/日 | JR 三ノ宮駅 118,123 人/日 阪急三宮駅 61,219 人/日 阪神三宮駅 51,162 人/日 神戸高速線三宮駅 7,888 人/日 地下鉄西神・山手線三宮駅 60,989 人/日 地下鉄海岸線三宮・花時計駅 61,219 人/日 神戸新交通「トライノ」線三宮駅 29,597 人/日 合計 390,197 人/日 | 空港線天神駅 60,937 人/日(H24 年) 七隈線天神南駅 12,205 人/日(H24 年) 西鉄福岡駅 64,389 人/日 合計 137,531 人/日 |
| | 道路 | 国道 15、132、409 号線 県道 9、101 号線 | 国道 5、12、36、230 号線 県道 18 号線 | 首都高速神奈川 1 号横羽線 首都高速神奈川 3 号狩場線 国道 16、133 号線 横浜市主要地方道 80 号線 | 名古屋高速都心環状線 国道 41 号線 県道 215 号線 | 国道 367 号線 府道 32、37、187 号線 | 国道 1、2、25、176、423 号線 大阪市道南北線 府道 102、168 号線 | 阪神高速 3 号神戸線 国道 2 号線 県道 21、30 号線 | 国道 202 号線 県道 553、554、602 号線 |

※1：鉄道乗車人員数については、各市 HP 記載の最新の統計書（統計年鑑）参照。記載の無いものは、平成 23 年度の数値。乗降者人員数記載の場合には、乗車人員数＝（乗降者人員数）÷2 として計算